

# 順次構造と基本的な処理 infomaticsI-024

教科書 p.168

# 順次構造と基本的な処理

---

- 処理がひとまとまりのブロック内で、上から順に実行される
- 変数
  - 数値・文字列などの値に名前をつけたもの
- 代入
  - 『=』で、右辺の値や計算結果を左辺の変数に渡す
    - 等しいという意味はない  
(『 $x = x + 1$ 』のように記述することもある)
  - 共通テスト用プログラム表記・Python
    - $x = 1$

# 順次構造と基本的な処理

---

- 文字列

- 文字列はダブルクォーテーション『”』で囲み, 『+』で連結できる

- 共通テスト用プログラム表記・Python

- namae = "Takatsuji"

- yobikata = "Takatsuji" + "Sensei"

# 順次構造と基本的な処理

---

## •出力

- ()内に指定された値(数値・文字列)を表示する

- 『,』で区切って複数記述できる

- 共通テスト用プログラム表記

- 表示する("Hello World!")

- 実行結果

- Hello Wold!

- yotei = "mcdonald"

- 表示する(yotei, "に行く")

- 表示する(yotei + "に行く")

- 実行結果

- mcdonald に行く

- mcdonaldに行く

# 順次構造と基本的な処理

---

## •出力

- ()内に指定された値(数値・文字列)を表示する

- 『,』で区切って複数記述できる

- Python

- `print("Hello World!")`

- 実行結果

- Hello Wold!

- `yotei = "mcdonald"`

- `print(yotei, "に行く")`

- `print(yotei + "に行く")`

- 実行結果

- mcdonald に行く

- mcdonaldに行く

# 順次構造と基本的な処理

---

- 四則演算

- 足し算, 引き算, かけ算, 割り算

- 共通テスト用プログラム表記・Python

- x = 5 + 2 # 5と2の和(足し算の結果 7)をxに代入

- x = 5 - 2 # 5と2の差(引き算の結果 3)をxに代入

- x = 5 \* 2 # 5と2の積(かけ算の結果 10)をxに代入

- x = 5 / 2 # 5と2の商(割り算の結果 2.5)をxに代入

# 順次構造と基本的な処理

---

- 整数除算

- 整数同士の割り算の商, 整数同士の割り算の余り

- 共通テスト用プログラム表記

- x = 5 ÷ 2 # 5と2の商(割り算の結果の整数部分 2)をxに代入

- x = 5 % 2 # 5と2の余り(割り算の結果の余り 1)をxに代入

- Python

- x = 5 // 2 # 5と2の商(割り算の結果の整数部分 2)をxに代入

- x = 5 % 2 # 5と2の余り(割り算の結果の余り 1)をxに代入

# 順次構造と基本的な処理

---

- べき乗

- 同じ数を繰り返しかけるかけ算

- 共通テスト用プログラム表記・Python

- $x = 5 ** 2$

- # 5の2乗(同じ数を2回かけるかけ算の結果 25)をxに代入

# 基礎練習

- 1. ハンバーガーの代金がburgerに、チーズバーガーの代金がcheeseに代入されている。チーズバーガーとハンバーガーの差額を表示するプログラムは次のようになる。

- 共通テスト用プログラム表記

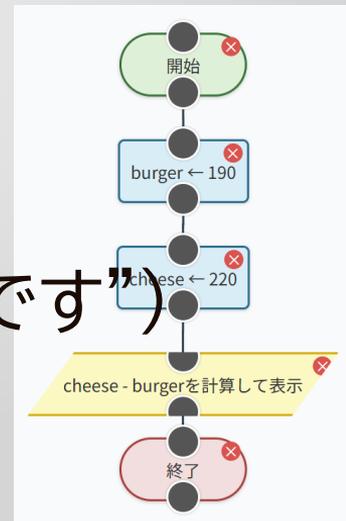
- burger = 190

- cheese = 220

- 表示する("差額は", cheese - burger, "円です")

- 実行結果

- 差額は 30 円です



# 基礎練習

- 1. ハンバーガーの代金がburgerに、チーズバーガーの代金がcheeseに代入されている。チーズバーガーとハンバーガーの差額を表示するプログラムは次のようになる。

- Python

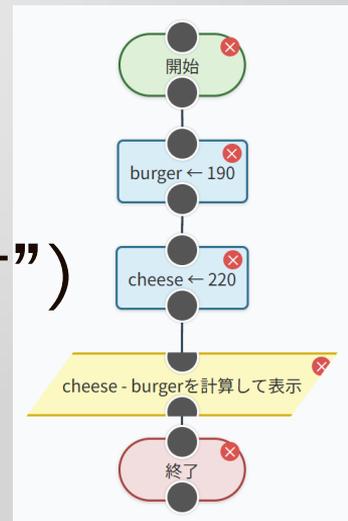
- `burger = 190`

- `cheese = 220`

- `print("差額は", cheese - burger, "円です")`

- 実行結果

- 差額は 30 円です



# 基礎練習

- 2. 2000円の所持金で480円のビッグマックをなるべくたくさん購入したい。購入できる個数と、そのときのおつりを表示するプログラムは次のようになる。

- 共通テスト用プログラム表記

- `temochi = 2000`

- `bigmac = 480`

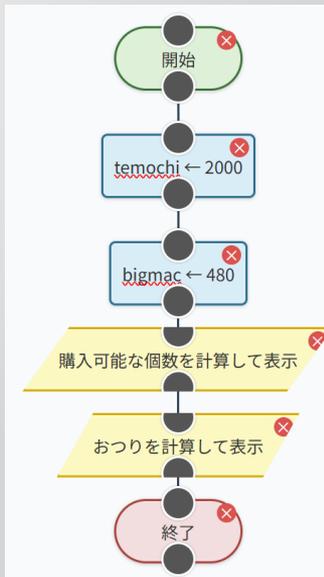
- 表示する(`temochi ÷ bigmac`, "個")

- 表示する(`temochi % bigmac`, "円")

- 実行結果

- 4 個

- 80 円



# 基礎練習

2. 2000円の所持金で480円のビッグマックをなるべくたくさん購入したい。購入できる個数と、そのときのおつりを表示するプログラムは次のようになる。

◦Python

▪ `temochi = 2000`

▪ `bigmac = 480`

▪ `print(temochi // bigmac, "個")`

▪ `print(temochi % bigmac, "円")`

◦実行結果

▪ 4 個

▪ 80 円

